

本時のねらい 様々な感情や様子を尋ねあう表現を知り，それらをジェスチャーで表そうとする。

本時の展開 (1 / 4)

過程	学習活動	本時の重点とする評価の観点と評価方法
導入	1.Warm-up ・あいさつをする。Hello. Good morning. Let's start English class. 2.ALT's Time (評価の観点 ウ) ・ALT と HRT の“How are you?” “I'm fine.”のあいさつのやりとりを聞く。英語では，“Hello.” や“Good morning.”だけでなく，“How are you?” “I'm fine.”とあいさつしあうことを知る。また，ジェスチャーを交えた“Are you happy?” “Yes.”などのやりとりから，感情や様子を表す語の意味を理解する。	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度 感情や様子を表す語をジェスチャーで表そうとしている。【観察】 ウ 言語や文化に関する気付き 英語の挨拶と日本語の挨拶の文化の違いに気付いている。【観察】
課題 展開	3.Activity (評価の観点 ア) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> ジェスチャーゲームで気持ちをあてよう！ </div> (1) Let's Play1 : ジェスチャーゲーム (ALT の答える感情の絵カードの所へ集まる。) ・ジェスチャーゲーム のスキットを見て，ゲームのやり方を理解する。	各過程における配慮事項 学習活動 1 について 児童の英語への緊張を解きほぐすように，指導者が明るい雰囲気であいさつをする。
評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> HRT: Let's play the Gesture Game. ~ sensei, how are you? ALT: I'm hungry. (ジェスチャーを付けて答える。) HRT: Hungry? (感情を表す絵カードの所へ行く。) ALT: Yes. I'm hungry. (感情を表す絵カードの所へ行き，答えを確かめる。) </div> (2) Let's Play2 : ジェスチャーゲーム (ALT の話す気持ちや様子を表す表現を聞いて，ジェスチャーを交えながら HRT と一緒に尋ねる。) ・ジェスチャーゲーム のスキットを見て，ゲームのやり方を理解する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> HRT: How are you? ALT: I'm sleepy. HRT と児童: Sleepy? (ジェスチャーを付けて尋ねる。) ALT: Yes. I'm sleepy. (ジェスチャーを付けて答える。) </div> (3) Let's Sing : ジェスチャーを付けて Hello Song を歌う。	学習活動 2 について 児童は，最初は ALT が尋ねる“How are you?”の意味を理解しないと予想される。そこで，質問の後にジェスチャーを付けたり，絵カードを見せたりしながら“Are you happy?”などと尋ねることにより，児童にこの質問の意味と感情や様子を表す語の意味とを理解できるようにする。 学習活動 3 について ジェスチャーゲーム では，最初は HRT が ALT に“How are you?”と尋ねるが，児童がゲームに慣れてきたら，HRT と一緒に質問していくようにする。 ジェスチャーゲーム では，ジェスチャーを使って，コミュニケーションを図る楽しさを味わえるようにする。 Let's Sing では，児童は指導者がする歌に合わせた動作を真似しながら，楽しく歌えるようにする。
	4.Evaluation (1) 自己評価をする。 ・ジェスチャーと一緒に気持ちを表す言葉が言えた。 ・英語では，“How are you?” と尋ねるところが，日本語とは違うと思った。 (2)相互評価をする。 ・ さんの Happy のジェスチャーは，とても楽しそうで，わたしも楽しくなりました。 (3) 教師による評価を聞いて次時への意欲をもつ。 ・ さんのようにジェスチャーを使うと，気持ちが伝わりやすかったね。	学習活動 4 について 本時のねらいに沿って評価活動を行う。英語ではあいさつするときには相手の気分や状態を尋ねる言葉を補う習慣があることに活動を通して気付いた児童や，言葉に合うジェスチャーをしながら伝えようとしている児童を認める。 中学校へつなげるポイント 異文化間のコミュニケーションにおいては，言葉だけでなくジェスチャーを効果的に活用して自分の思いを伝えることが大切となる。そこで，ここでは，ジェスチャーを使って表現することに慣れるようにしたい。